



5月を迎えて

～運動会への準備スタート～

副校長 中山 泰

校庭の木々の緑がいつそう濃くなり、爽やかな季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

新しい環境で緊張の連続だった四月が過ぎ、生徒たちもようやく新しいクラスや生活リズムに慣れてきたようです。

さて今月中旬からは、六月に開催される運動会に向けて、準備や練習が本格的に始まる時期になります。運動が得意な子にとっては、自己アピールする絶好の機会になります。

しかし運動会は、単に運動能力を競うだけの場ではありません。一つの目標に向かってクラス全員が一致団結して協力し合う場でもあります。またリーダーシップを発揮する上級生の姿は、下級生にとって大きな憧れとなり、学校の伝統を繋ぐ大切な機会にもなっています。

既に実行委員会を中心に今年度のスローガン決めが始まっていますが、今後は各クラスでの選手決め、クラス旗づくり、当日の係活動への準備など、一人一人の生徒がそれぞれの目的や役割を果たすことで学校全体としての運動会を盛り上げていくことでしょう。

全員リレーをはじめ、大縄跳びや3年生の大ムカデなどの競技では、一人二人の傑出したヒーローよりも全体としてのまとまりやチームワークが勝敗の鍵になります。全員リレーでは走力に個人差がある中で、走順やリレーゾーンの使い方について試行錯誤したり、大縄跳びや大ムカデではクラス全員の意気を合わせる工夫について話し合います。時には意見がぶつかり合ったりすることもあります。話し合いを重ね、納得のいく形を創り上げていきます。

こうした「過程」をとおして、一人一人の「個」が輝き、クラスの「絆」が深まる機会となり、中学生としての成長の糧になります。

一方で練習が重なるにつれ、心身ともに疲れが出る時期でもあります。ご家庭におかれましては、朝食の摂取や早めの就寝など、生徒たちが万全の体調で活動に取り組めるよう、温かな見守りと励ましをお願いいたします。

五月は「五月病」という言葉があるように、連休明けの疲れや、環境変化によるストレスが表面化しやすい時期でもあります。充実した行事の裏側で、生徒たちが無理をしていないか、心に小さなサインを出していないか、私たち教職員はこれまで以上に丁寧に見守ってまいります。

学校生活で何か心配なことがございましたら、担任はもちろん、学年主任や私たち管理職、あるいはスクールカウンセラーまで、遠慮なくご相談ください。学校と家庭が車の両輪のように連携し、生徒たちの健やかな成長を支えていければと願っております。

六月の本番に向けて、学校全体が一つのチームとして結束を強めていくこの五月。生徒たちが知力、体力、そして豊かな心を育めるよう、全力を尽くしてまいります。今月も、変わらぬご支援をお願い申し上げます。